

事務事業名 害獣・害虫駆除対策事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1737

施策：	24	生活環境の向上	財務コード	01040106-15-00
基本事業：	03	生活環境に関する害の減少	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	苦情及び相談件数（騒音・振動・悪臭） 苦情及び相談件数（草刈・樹木等） 河川の水質が国の基準を上回った件数		担当課	環境課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
害獣・害虫・特定外来生物			害獣相談に対するアドバイス 害獣が発生したときの対応や未然に防ぐための知識について、広報、SNS等により情報発信を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
被害の防止、抑制									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
市広報及びSNSによる啓発のための情報発信数		回	2	4	6	4			8
5. コスト									
事業費		計	千円	47	57	172	303		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		0	171		
一般	千円	47	57	172	132				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1	0.4			
正職員人件費		千円	800	809	807	3,194			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	847	866	979	3,497			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		特定外来生物について、市広報及びSNSを通じ市民啓発を行った。 生態系に関することをホームページへ掲載し、周知を図った。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
外来種による在来種への影響が懸念される。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									